

# コウモリコロナウイルスの性状解析

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス(SARS-CoV)や新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)などのSARS関連コロナウイルス(サルベコウイルス)と中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)などのMERS関連コロナウイルス(メルベコウイルス)を含むベータコロナウイルスは、過去20年間にSARS、MERS、COVID-19と3回もヒトに致死的な感染症を引き起こしました。特に COVID-19は、2019年のパンデミック以来いまだ終息が見通せず、社会的な大問題となっています。これらのウイルスはすべてコウモリ由来であることがわかっています。しかしながら、コウモリがどのようなコロナウイルスを保有しているかはよくわかりません。そこで私たちは今後の新しいコロナウイルス感染症が発生に備えるためにコウモリがどのようなコロナウイルスを持っているのか明らかにすることを目的に研究を進めています。

これまでに、日本のコキクガシラコウモリ(図1)が新型コロナウイルスに近縁なウイルスを保有していることを明らかにしました(図2)。



図1.コキクガシラコウモリ

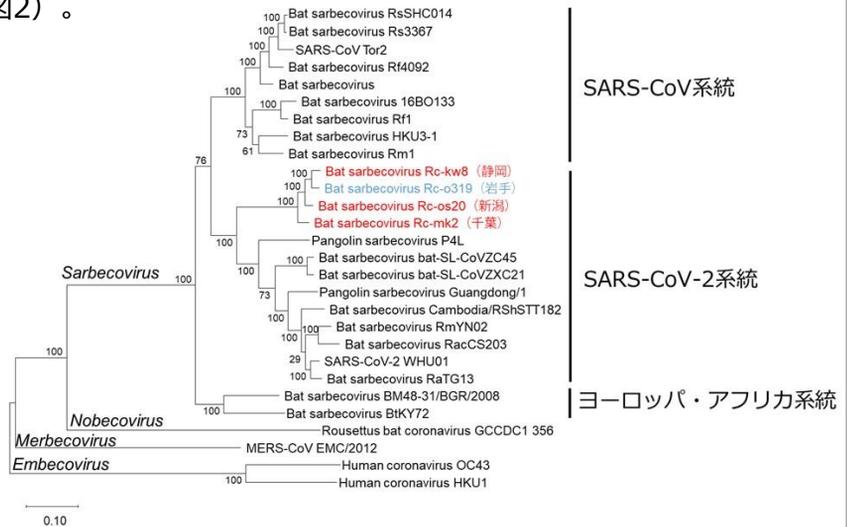


図2.日本のサルベコウイルス(赤字)

また日本のヒナコウモリ(図3)やクビワコウモリからはMERSコロナウイルスに近縁なウイルスを検出しました(図4)。



図3.ヒナコウモリ

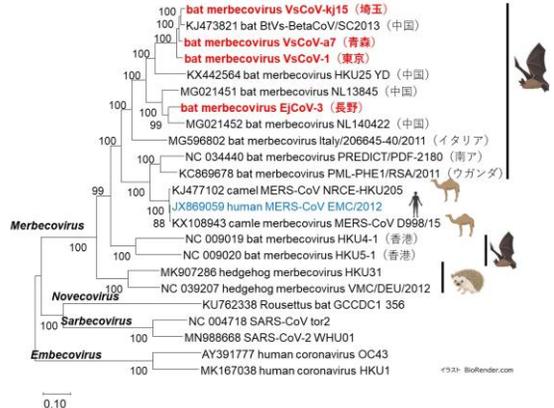


図4.日本のメルベコウイルス(赤字)